

原子力専門研修（機械）報告書

日 時 令和4年12月6日～12月7日

場 所 日本原子力発電株式会社東海事業本部東海総合研修センター

研修の目的

本研修は、原子力安全対策課及び原子力安全対策課檜葉町駐在の職員の原子力発電所設備、特にポンプや弁等の機械に関する知識向上を図り、原子力発電所の廃炉に向けた取組の監視体制のさらなる強化を目的として実施した。

研修内容

12/6(火)

- ・ポンプの種類・構造等（講義）
- ・弁の種類・構造等（講義）
- ・ポンプ及び弁の分解・組立（実習）

ポンプや弁の種類・構造の基本を理解し、分解・組立により保守業務に関する理解を深めた。



作業開始前の危険予知（KY）実施の様子



ポンプと電動機の分解作業の様子 1



ポンプと電動機の分解作業の様子 2



浸透探傷試験（赤色や蛍光の浸透性の良い検査液を用いて、金属表面の割れや傷を検出するための非破壊検査方法）の実習



弁の分解点検作業の様子

12/7(水)

- ・系統隔離の考え方とループ設備の水抜き（講義・実習）
- ・ループ設備の水張りとは試運転

ポンプの系統隔離操作や試運転を体験し、機械設備の系統を理解するとともに、ポンプの点検時の確認項目について理解した。



ループ設備の概要設備の様子



ループ設備の試運転の様子



ループ設備試運転中のポンプと電動機の健全性確認（聴診棒による聴診）の様子